

山梨大学教職大学院 第33回教育実践フォーラム

これからの “系統的な学び” の在り方を問う

— 一次期学習指導要領改訂を見越して —

日 時	2026年10月31日（土）13:30～16:00
会 場	甲府西キャンパスN-11教室
内 容	パネリストの報告等
パネリスト	古屋 あゆみ

山梨大学教育学部附属幼稚園 副園長

内川 大輔

高等支援学校桃花台学園 教頭

後藤 賢次郎

山梨大学教職大学院 准教授

司 会	古屋 義博 山梨大学教職大学院 教授
参加対象者	山梨県内の学校・教育行政関係者

山梨大学教職大学院の修了生 在学生
関係者及び本学域教員

お申込み	以下のフォームからお申込みください https://forms.gle/qBG3jeUEzrunwZ9j6 申込締切 10月23日（金）
------	--



お問い合わせ	山梨大学教育学域支援課 TEL : 055-220-8107 / E-mail : edu-ksk@yamanashi.ac.jp
--------	--



山梨大学
UNIVERSITY OF YAMANASHI
地域の中核 世界の人材

【主催】 山梨大学教職大学院（教育実践創成専攻）
【後援】 山梨県教育委員会

山梨大学教職大学院 第33回教育実践フォーラム

これからの “系統的な学び” の在り方を問う

— 次期学習指導要領改訂を見越して —

2026年10月31日（土）13:30～16:00

2026年現在、中央教育審議会教育課程部会の各ワーキングで行われている、次期学習指導要領改訂に向けた議論では、高次の資質・能力とその構造化と関わって、「「系統性」の整理」がキーワードの1つに挙がっています。系統性という、まずは「教科の」「内容」に関する系統性がイメージされやすいですが、それだけでなく、資質・能力や学びに向き合う態度、主体性の点からも、子どもにとっての学びの連続性やまとまり、意味づけという意味での系統性が教科教育でも重要になってきました。また、幼児教育と特別支援教育において、系統性（学びの連続性やまとまり）は、子どもの特性や、次の学校段階、社会との接続を見つめてきた点から言えば、古くて新しいテーマだと言えるでしょう。

そこで、専門や分野を超えたパネリストからの報告をもとに、系統性（学びの連続性やまとまり）の捉え方や、それを保証する上での課題と課題を乗り越える工夫や実践例について情報交換、交流し、フォーラム参加者が系統性や系統的な学びを広く捉え、そのこれからの在り方を問うきっかけとなる場を設けたいと思います。

山梨大学教職大学院 教育実践フォーラム会場案内図

